

医療機関対象 危機管理広報セミナー

「まさかの時のメディア対応」のご案内

《10月20日(木) 午後2時～4時》

P R総合研究所

共和ピー・アール株式会社

拝啓 早秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

危機管理と広報の調査・研究機関「P R総合研究所（以下P R総研）」と医療・医薬及び大学を専門領域とする「共和ピー・アール株式会社」は医療機関を対象にした緊急時メディア対応に関する『危機管理広報セミナー』を10月20日（木）に共同開催いたしますのでご案内申し上げます。

最近、多数の死亡者を出した腹腔鏡手術ミスが大きく報じられ、社会的批判を浴びる事例が世間の耳目を集めました。このような医療事故を始め、院内感染、個人情報流出、医師・医療従事者の不祥事、スタッフのSNS炎上、医療訴訟など、医療機関は多くのリスクを抱えているといえます。

医療機関はそもそも公的で社会的な存在として位置づけられており、万一ネガティブな問題が起きれば、メディアの集中的な取材や報道にさらされ、その結果、医療機関の信頼に傷がつき、知名度を落とすことになりかねません。とりわけ、緊急時の初期にメディア対応でミスや失敗をすると、二次被害的に信用・信頼の失墜という重大なダメージを受けてしまい、信用を回復するのは困難を極めます。医療機関への信頼の維持とダメージ軽減には、危機管理の巧拙と緊急時の危機管理広報が大きな役割を担うことが認識されながらも、では、具体的にどうすればいいのか悩む担当者が多く存在しています。

- 万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうすべきか、対応のポイントは何か・・・
- 電話取材をはじめ取材には具体的にどう対応すればいいのか、何をしてはいけないのか・・・
- メディア向けの発表文（ニュースリリース）はどうか、万一の緊急記者会見はどう開くのか・・・

本セミナーはこのようなニーズに応じて、医療機関の広報、総務、危機管理の責任者・担当者様を対象に、危機管理の基本とメディア対応の実践的なノウハウを修得していただけるよう構成しました。講師は医科大学の危機管理広報コンサルタントとして長年にわたる豊富な経験を持ち、多くの医療機関で研修、セミナーの講師をつとめたP R総研所長の篠崎良一が担当いたします。

ぜひ、ご出席いただき、貴医療機関の危機管理にお役立ていただければ幸いです。

敬具

医療機関対象 危機管理広報セミナー 「まさかの時のメディア対応」

- 対 象 者 広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者。
- 本講座の特色
 1. 危機管理の実務知識の習得。
 2. 具体的なリスク事例の検証。
 3. 緊急時のメディア対応のノウハウの習得。
- 日 時 2016年10月20日(木) 14:00~16:00
- 会 場 『広報の学校』銀座教室
住所： 中央区銀座7-2-22 DOWAビル 3F
- 講 座 概 要 詳細は次頁の<講義内容>をご覧ください。
- 講 師 篠崎 良一 PR 総研所長
- 定 員 20名 お申し込み順、定員になり次第締切りとさせていただきます。
定員に達しない場合、実施しないこともございますので、予めご了承ください。
- 受 講 料 10,800円 (レジュメ・資料代含む)
※上記金額で1医療機関2名様までご参加いただけます。
- 支 払 方 法 当日会場受付でお支払いください。
※領収書が必要な方は申込書にご記入下さい。
※申し込みされた方が都合で参加できない場合の代理出席は可能です。
- 申 し 込 み 受講申込書に記入の上、FAXでお送り下さい。
- FAX送付先 03-5537-0470 (共和ピー・アール/P R 総研 『危機管理広報セミナー』係)
- 締 め 切 り 10月13日(木)

※キャンセルは10月17日(月)までに必ずご連絡ください。

□ ■ □ 問い合わせ先 □ ■ □

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル
共和ピー・アール(株) 医療機関対象 危機管理広報セミナー事務局 小島
TEL. 03-5537-0578 FAX. 03-5537-0470
e-mail:k.kojima@kyowa-pr.co.jp

■ 講義内容

テーマ	内 容
事例研究	病院・医療施設での事故・事件
医療機関のリスク対応	医療リスク報道の契機／医療事故・事件に対するメディアの視点 情報公開における留意点／プレス発表の目的、公表基準、公表内容
危機管理の基本	危機管理と危機管理広報の目的／リスク評価の重要性／危機管理広報とブランド回復プロセス／なぜ失敗するのか／平常時と危機時広報の違い／危機管理のプロセス／5つのダメージ／批判の三分野／危機管理の基本原則
危機管理広報	危機時の広報担当者の業務／マスコミの不祥事への視点／電話対応のポイント／対面取材のポイント／緊急記者会見が必要なケース／緊急記者会見の意味と基本原則／記者会見対応のポイント／避けるべき失言／出席者の注意／コメントの注意／態度／Q&A作成のポイント

■ PR 総合研究所

共同PRが、2013年1月31日に創設した広報・危機管理・メディア等コミュニケーション領域の調査・研究機関。社外の有識者・専門家と社内のスタッフで構成。広報・PR活動の価値向上を目的とした理論から応用までの幅広い実証的研究や調査及びセミナー、シンポジウムを実施しています。

■ 共和ピー・アール株式会社

1981年創業。共同PRグループに属し、医療・医薬および大学関係を専門領域とし、豊富な実績を有する。マスメディアとのフェイス・トゥ・フェイスの折衝を通じた親密な友好関係を基盤に様々な企業の広報支援を実施。

■ 講師略歴

篠崎 良一 PR 総合研究所 所長／共同PR 広報の学校・学校長

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社（日本実業出版社、ローリングストーンジャパン）を経て、共同PR(株)入社、取締役、常務取締役、取締役副社長を経て現職。

医療関連団体の危機管理コンサルティング、多くの危機管理研修、メディアトレーニング、講演を担当。

企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。

企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニングを担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。（クライシス）メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。企業、行政、各種団体の講演、セミナー、研修講師を数多く実施。著書に『入門メディアトレーニング』（アニモ出版）、『実戦企業広報マニュアル』〈韓国版が2004年に刊行〉、『会社を守る！もしものときのメディア対応策』（共にインテックス・コミュニケーションズ）、『広報・PR概論』（共著、同友館）、『広報・PR実務』（監修、同友館）、『パブリックコミュニケーションの世界』（共著、北樹出版）他がある。日本広報学会、日本PR協会、日本コーポレートガバナンスネットワーク、各会員。（社）日本PR協会認定資格『PRプランナー』試験委員。

危機管理広報セミナー係 FAX. 03-5537-0470

※キャンセルは10月17日(月)までに必ずご連絡ください。

危機管理広報セミナー『まさかの時のメディア対応』 受講申込書

■日時：2016年10月20日(木) PM 2:00~4:00

■会場：『広報の学校』銀座教室

住所：中央区銀座7-2-22 DOWAビル 3F

申込日 2016年 月 日

貴院名		部署・役職名	
御氏名		TEL	
御住所	〒	FAX	
		e-mail	
領収書	要 () 不要 ()	領収書宛先	
《通信欄》ご質問などございましたら、当欄にご記入ください。			

- * 受講申し込みは、当申込用紙にご記入のうえ、FAXでお送りください。
- * お申し込み順、定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- * 「申し込み確認書」を参加者様宛に送付いたしますので、当日持参してください。
- * 1施設2名様までご参加いただけます。
- * お申し込みされたご本人が参加できない場合の代理参加は可能です。
- * 定員に達しない場合、実施しないこともございますので、ご了承ください。